切出しの仕方

ここでは「さ行（さしすせそ）」の切出しについて説明します。

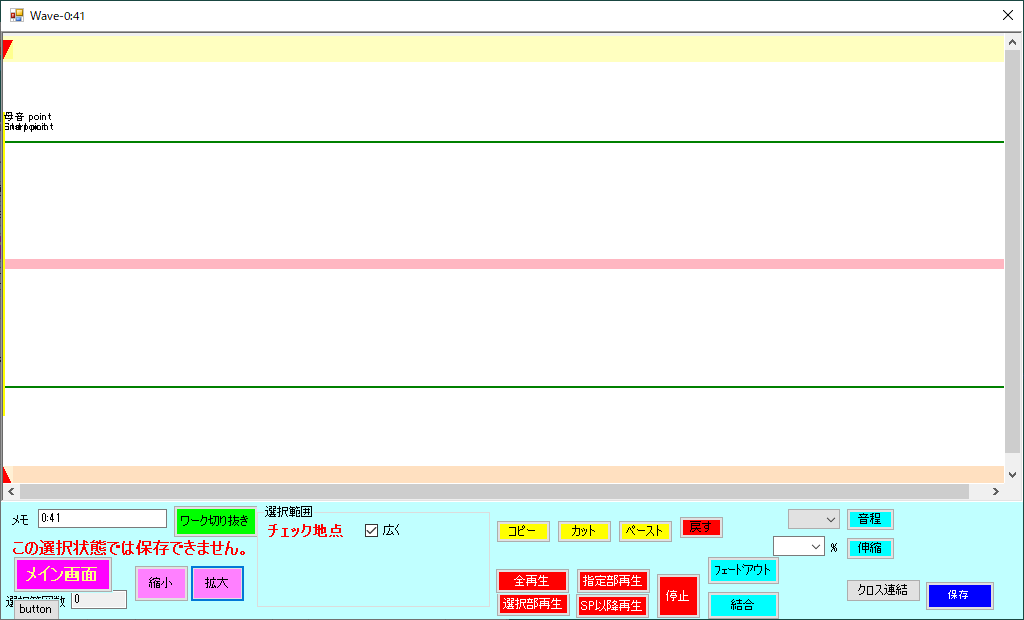
録音音源データは、ここでは

「うえさしし、うえしすす、うえすせせ、うえせそそ、うえそささ」で説明します。

注意）「うえ」をつけない「さしし、しすす、すせせ、せそそ、そささ」の場合は各先頭の「う、え」の2つの波形がないものとして読み変えてください。

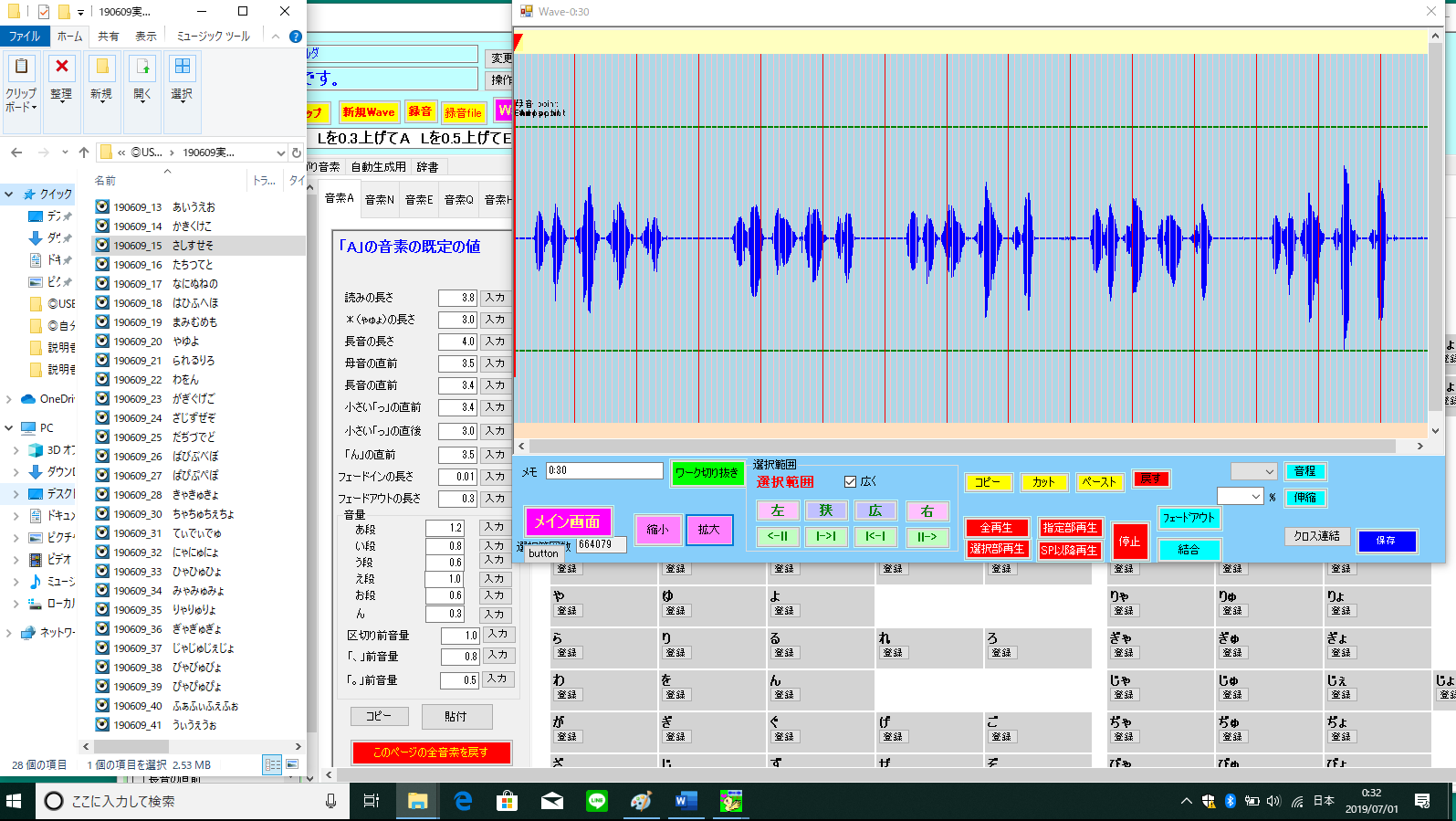
手順1）

音素編集ソフトの画面で、「新規Wave」をクリックして現れる窓に、必要な行単位の音声をドラッグします。

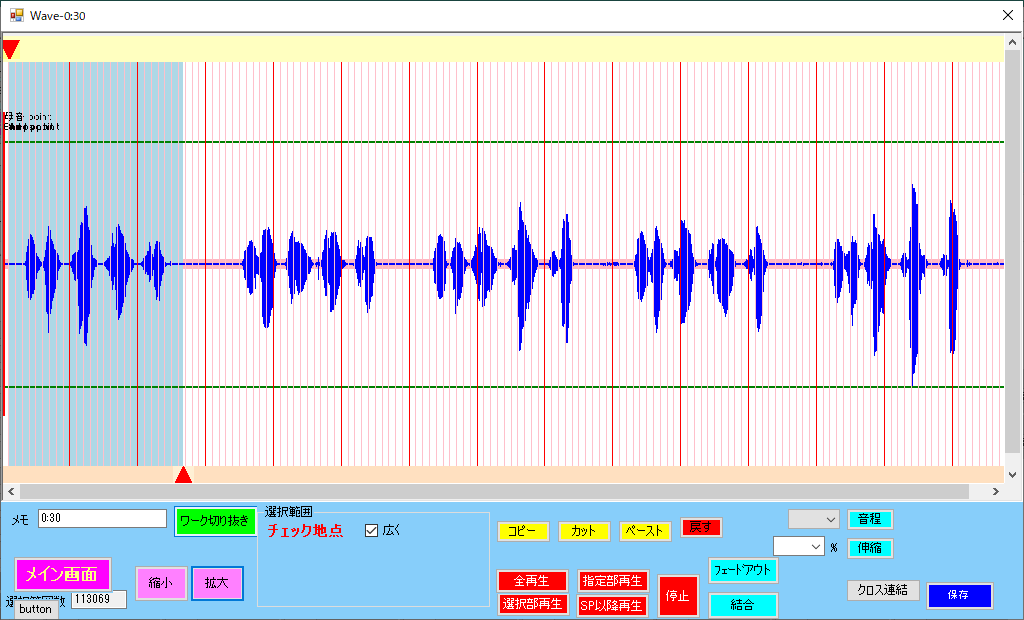


この窓に「さしすせそ」の行全体の録音音源をドラッグします。

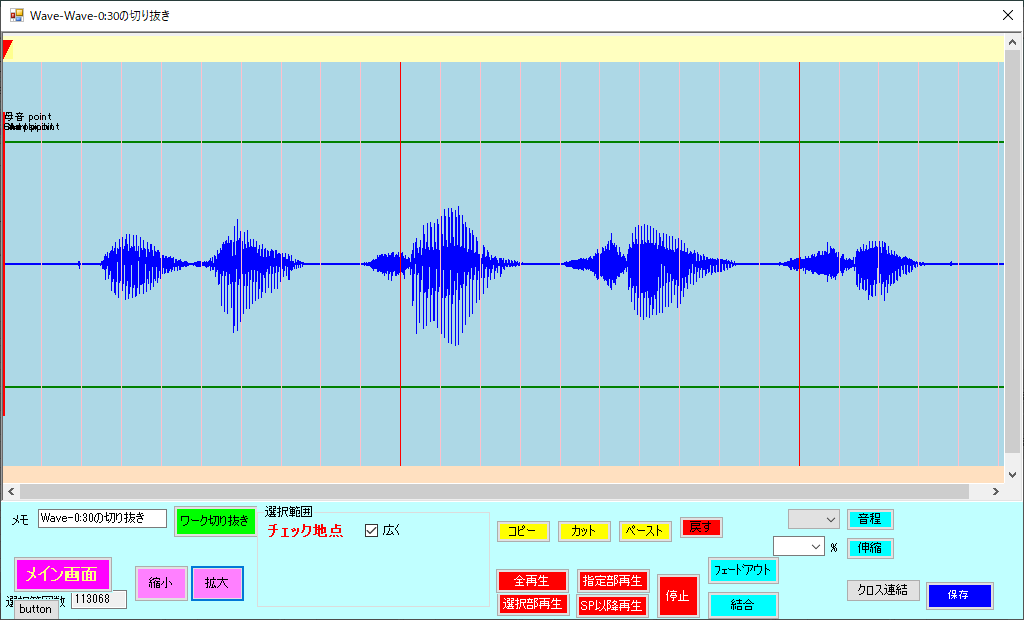
「うえさしし、うえしすす、うえすせせ、うえせそそ、うえそささ」



ドラッグもしくは▼▲の位置をずらして「うえさしし」を範囲



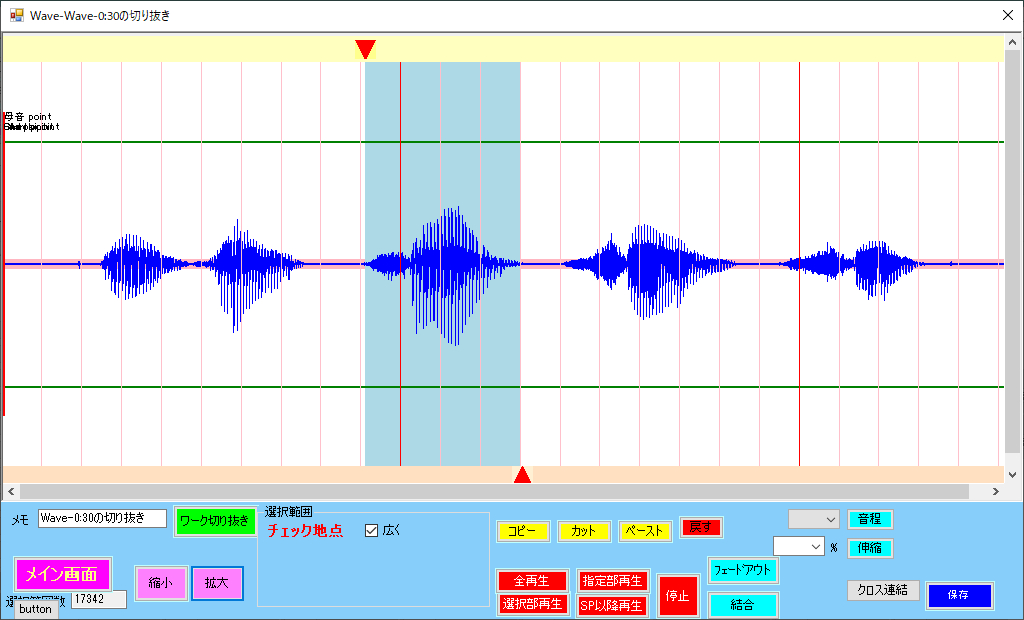
左下の緑の「ワーク切り抜き」を選ぶと「うえさししだけ」になる。



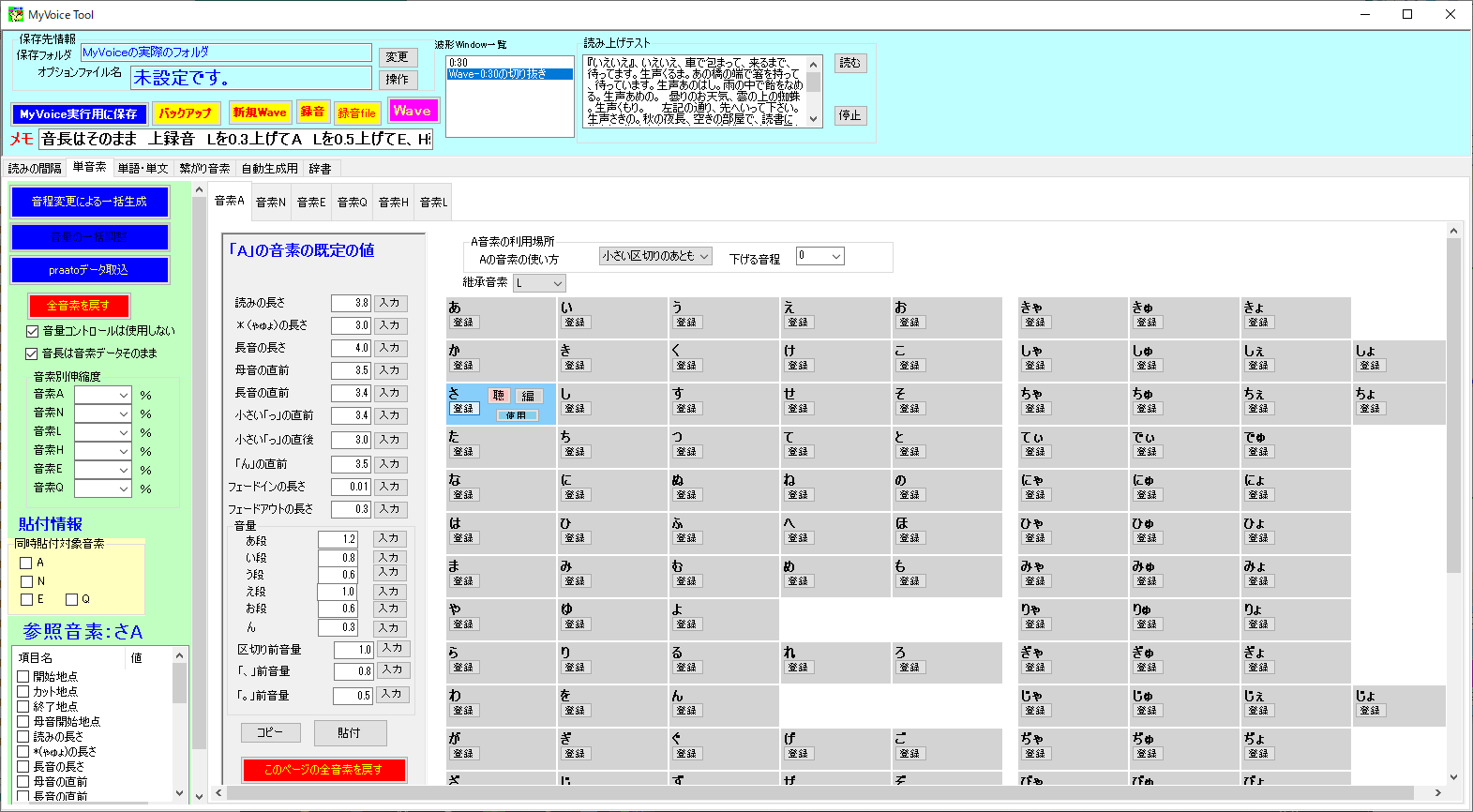
**この波形のうち使うのは3、4，5番目（「うえ」をつけない場合は1、2，3番目）で先頭からA,N,Eに配置します。**

**この画面では、波形順に**

**「う（不使用）、え（不使用）さA、しN、しE」となります。**



「うえさしし」の先頭から3番目は、「さA」なので今度は文字だけをドラッグもしくは▼▲の位置で決定して



Aタブの「さ」の登録をクリック。

「しN」「しE」についても、音素Nタブ、音素Eタブの「し」をクリックします。

以下この手順を繰り返します。